

## D. マイコン・ワープロの利用研究

磯部きよ子 齊藤 真子 杉山 光男  
 高木 徹 高須 照夫 ※富田 昇  
 松井 一幸 ※※宮田 学 柳田 嘉久

### 個人レベルの学習・指導理論と

### マイコンによる学習方法の診断

柳田 嘉久 齊藤 真子

#### はじめに

昭和60年度10月より、名古屋大学教育学部の梶田正巳助教授を中心とする研究グループと本グループの共同で「マイコンを使った学習方法診断システムの開発と学習指導への応用に関する研究」がスタートした。

梶田研究室が中心になって進めている研究の基本にあるのは、「個人レベルでの学習・指導論」という考え方である。この考え方の前提にあるのは、人間一人ひとりに、それぞれに特有な学習の仕方があるということである。つまり、生徒たちが学校において、家庭において、ものごとを学ぶ際には、たとえ生徒の年齢が低くても、自分なりの手順と方法で学習しているはずだ、という前提で、その個性的な学習方法をできるだけ科学的に記述し、分析しようとするのが、研究の1つの柱となっている。一方、教師が生徒たちにものごとを教える場合はもちろんのこと、生徒自身が友だちに何か教えてあげるといった場面をとっても、その人なりの教え方があるはずだと考える。個性的な学び方をPersonal Learnig Theoryと名づけ、教え方をPersonal Teaching Theoryと名づける。ひとりの個人の中には、学ぶ際のTheoryと教える際のTheoryとがあるが、この2つのTheoriesはその人の個性的な仕方と深く相互を規定していると考えられる。すると、2つのTheoriesをひとまとめにして、Personal Learning and Teaching Theoryと呼べるようなものがあるはずである。このひとまとめにしたものが「個人レベルの学習・指導論」であり、英文の頭文字

をとって“PLATT”と名づけているのである。共同研究では、このPLATTの考え方にそって、次のようなことに取り組んだ。

- ① 梶田研究グループによって開発された「マイコンによる学習方法診断」(全教科型)の実施とその分析
- ② 教科別診断プログラム作成のための尺度作りと予備調査の実施
- ③ 「マイコンによる教科別学習診断」(高校生用)の完成と実施

今回は、研究経過と③の「マイコンによる教科別学習方法診断」の調査内容と、その診断結果についての報告である。

#### 1. 研究経過の概略

研究の流れ	作業・活動内容	実施時期
A 教科別PLT測定のための尺度作り	1) 6つの尺度で各教科グループ毎に行動項目を考える 2) 3教科持ち寄って、検討会	昭和61年 春休み 昭和61年度 5月～6月
B 質問紙の作成	3) 教科別PLT測定のための質問紙完成	6月
C 予備調査の実施	4) 質問紙による予備調査実施 5) データ入力作業	7月 夏休み
D 教科別PLT質問紙の完成	6) データ分析とマイコンによる教科別学習方法診断の完成	9月
E マイコンによるプロフィール診断の実施	7) 「マイコンによる教科別学習方法診断」の実施と分析	10月

※62年4月より県立瑞陵高校へ転出

※※61年10月より名古屋短期大学へ転出

## 2. マイコンによる教科別学習方法診断の調査内容

### 学習の仕方に関する調査

人には、それぞれ自分に合った学習（以下では、勉強と同じ意味で使います）の仕方があると言われています。この調査では、あなたの国語、数学および英語の学習の仕方についてたずねます。率直に、あなたの仕方を教えてください。この調査の目的は、皆さんの解答の全体的傾向を知って、先生の指導の仕方や生徒の学習の仕方の改善に役立てようとするものです。したがって、一人ひとりの個人的な答えを評価するものではなく、決してありません。ありのままに、教えてください。

名古屋大学教育学部教育心理学教室

学校名：〔 〕高等学校 学年・組：〔 〕年〔 〕組 番号：〔 〕番  
氏名：〔 〕 性別：〔男・女〕

#### 記入の仕方

あなたの国語、数学および英語の「学習の仕方」についてうかがいます。下には、左右に、異なった二つの仕方AとBが、ペアーで示されています。あなたの学習の仕方は、このAとBのどちらの仕方により近いでしょうか。その近さを、

- |           |   |
|-----------|---|
| Aと同じ----- | 1 |
| Aに近い----- | 2 |
| Bに近い----- | 3 |
| Bと同じ----- | 4 |

の中から、最もあっている番号の所に  
○印をつけて、教えてください。

#### 例

あなたの仕方			
A	A	B	B
と	に	に	と
同	近	近	同
じ	い	い	じ

#### Aの仕方

#### Bの仕方

家で勉強をする時は 「音楽などを聞きながら勉強する」 A 1-2-3-4 B 「静かに集中して、勉強する」

わかりましたか？ では、次のページからの質問項目に教えてください。

### 国語の学習の仕方について

あなたの仕方			
A	A	B	B
と	に	に	と
同	近	近	同
じ	い	い	じ

#### Aの仕方

#### Bの仕方

- |   |                       |                      |   |         |   |                          |
|---|-----------------------|----------------------|---|---------|---|--------------------------|
| 1 | 雑誌を読む（見る）時は           | 「記事を読む方が多い」          | A | 1-2-3-4 | B | 「写真・イラストを見る方が多い」         |
| 2 | 古文・漢文の文法・語法は          | 「おぼえることに<br>重点を置く」   | A | 1-2-3-4 | B | 「理解することに重点を置く」           |
| 3 | 授業中に先生が指示<br>することについて | 「指示に従うのが<br>遅れる方である」 | A | 1-2-3-4 | B | 「すばやく指示に従う方である」          |
| 4 | 他の人が教科書を<br>音読している時は  | 「何となく聞いている」          | A | 1-2-3-4 | B | 「漢字の読み方や内容を<br>考えて聞いている」 |
| 5 | 国語の家庭学習は              | 「日課表に従って行う」          | A | 1-2-3-4 | B | 「その時々に応じ、臨機応変に行う」        |
| 6 | 古文・漢文の現代語訳は           | 「ノートに全部書く」           | A | 1-2-3-4 | B | 「重要な箇所だけ書く」              |
| 7 | 国語（現代文）の授業のノートは       | 「家でまとめ直す」            | A | 1-2-3-4 | B | 「そのままにしておく」              |

個人レベルの学習・指導理論とマイコンによる学習方法の診断

		あなたの仕方					
		A	A	B	B		
		と	に	に	と		
		同	近	近	同		
		じ	い	い	じ		
		Aの仕方		Bの仕方			
8	古文・漢文の授業の前に教科書の中でわからない部分があったら	「そのままにしておく」	A	1-2-3-4	B	「傍線を引くなど必ず印をつける」	
9	現代文の授業の前に教科書の中でわからない語句があったら	「必ず意味を調べる」	A	1-2-3-4	B	「そのままにしておく」	
10	新聞記事を読んで	「自分でよく考える」	A	1-2-3-4	B	「特に考えることはない」	
11	古文・漢文の現代語訳は	「おぼえることに重点を置く」	A	1-2-3-4	B	「理解することに重点を置く」	
12	ニュースを知るのは	「主にテレビ・ラジオから」	A	1-2-3-4	B	「主に新聞から」	
13	古文・漢文の授業のノートは	「家でもう一度整理し直す」	A	1-2-3-4	B	「そのままにしておく」	
14	先生がクラス全員に質問をした時は	「当たってから考える」	A	1-2-3-4	B	「いつも考える」	
15	古文・漢文の教科書の本文は	「ノートに書き写さない」	A	1-2-3-4	B	「ノートに書き写す」	
16	人に手紙や葉書を	「全く出さない」	A	1-2-3-4	B	「よく出す」	
17	古文・漢文の授業の前に教科書の中でわからない語句があったら	「必ず意味を調べる」	A	1-2-3-4	B	「そのままにしておく」	
18	国語（現代文）の授業の前に教科書の中で読めない漢字があったら	「そのままにしておく」	A	1-2-3-4	B	「必ず読めるようにする」	
19	現代文の授業の前に教科書の中でわからない部分があったら	「そのままにしておく」	A	1-2-3-4	B	「傍線を引くなど必ず印を付ける」	
20	先生の質問にすぐ答えられない時は	「時間がかかっても自分で答えようと努力する」	A	1-2-3-4	B	「友人に答えを聞くかすぐわからないと答える」	
21	国語のテスト勉強は	「集中的に行う」	A	1-2-3-4	B	「毎日少しずつ行う」	
22	単行本と雑誌・マンガを比較すると	「雑誌・マンガを読む（見る）ことが多い」	A	1-2-3-4	B	「単行本を読むことが多い」	
23	古文・漢文の現代語訳は	「辞書を使って自分で訳す」	A	1-2-3-4	B	「先生やガイドに頼る」	
24	他の人が質問を受けた時は	「自分も考える」	A	1-2-3-4	B	「自分は考えない」	
25	古文・漢文の授業の前に教科書の中で読めない漢字があったら	「そのままにしておく」	A	1-2-3-4	B	「必ず読めるようにする」	
26	友人に自分の気持ちを伝えたい時は	「手紙に書く方である」	A	1-2-3-4	B	「電話で話す方である」	
27	古文・漢文の授業の予習は	「必ずやる」	A	1-2-3-4	B	「全くやらない」	
28	テスト勉強の時、自分のノートに書かれていることは	「おぼえる方に重点を置く」	A	1-2-3-4	B	「理解する方に重点を置く」	
29	古文・漢文の文法・語法は	「自分で考える部分が多い」	A	1-2-3-4	B	「先生やガイドに頼る部分が多い」	
30	日記または交換ノートは	「全く書かない」	A	1-2-3-4	B	「毎日書いている」	
31	古文・漢文の授業の前には	「教科書は必ず読む」	A	1-2-3-4	B	「教科書は全く読まない」	
32	本は	「よく読む方である」	A	1-2-3-4	B	「読まない方である」	
33	古文・漢文の授業の復習は	「その日のうちにやる」	A	1-2-3-4	B	「テスト前などにまとめてやる」	

## 数学の学習の仕方について

あなたの仕方
--------

A と 同 じ	A に 近 い	B に 近 い	B と 同 じ
------------------	------------------	------------------	------------------

### Aの仕方

### Bの仕方

- |    |                |                   |   |         |   |                    |
|----|----------------|-------------------|---|---------|---|--------------------|
| 1  | 数学の勉強は         | 「基本事項を深く学習する」     | A | 1-2-3-4 | B | 「多くの問題や実例になれる」     |
| 2  | 計算をするとき        | 「途中の式も書く」         | A | 1-2-3-4 | B | 「答だけを書く」           |
| 3  | 応用問題が解けないとき    | 「解答をみて理解する」       | A | 1-2-3-4 | B | 「基本的な例題にもどる」       |
| 4  | 要点は            | 「教科書や参考書にしるしをつける」 | A | 1-2-3-4 | B | 「ノートにまとめる」         |
| 5  | 授業中疑問が生じたら     | 「だまって自分で考える」      | A | 1-2-3-4 | B | 「手を上げて質問する」        |
| 6  | 数学の勉強の進め方は     | 「授業の進み方にあわせる」     | A | 1-2-3-4 | B | 「自分の計画でやる」         |
| 7  | 宿題がある時は        | 「まず宿題をやる」         | A | 1-2-3-4 | B | 「まず自分の勉強をやる」       |
| 8  | 数学の授業では        | 「聞くことに重点を置く」      | A | 1-2-3-4 | B | 「書くことに重点を置く」       |
| 9  | 先生が黒板に書いたことは   | 「要点だけノートに写す」      | A | 1-2-3-4 | B | 「すべてノートに写す」        |
| 10 | 数学の勉強は         | 「まとめて時間をかける」      | A | 1-2-3-4 | B | 「毎日少しずつやる」         |
| 11 | 公式は            | 「丸暗記する」           | A | 1-2-3-4 | B | 「理解して覚える」          |
| 12 | わからない所は        | 「確実に理解する」         | A | 1-2-3-4 | B | 「気にせず全体をはやくつかむ」    |
| 13 | 他の人が黒板に解答したものを | 「そのまま写す」          | A | 1-2-3-4 | B | 「自分なりに解答する」        |
| 14 | テストでわからない問題は   | 「何も書かない」          | A | 1-2-3-4 | B | 「何でもいいから書く」        |
| 15 | わからないことを聞くとき   | 「ヒントやつまったところを聞く」  | A | 1-2-3-4 | B | 「解答を全部聞く」          |
| 16 | 数学の勉強は         | 「毎日きまった時間やる」      | A | 1-2-3-4 | B | 「特に決めずに勉強する」       |
| 17 | 先生が説明を始めた      | 「ノートをとるのを中断する」    | A | 1-2-3-4 | B | 「ノートをとるのを中断しない」    |
| 18 | 解答は            | 「きちんと書いて残しておく」    | A | 1-2-3-4 | B | 「適当な紙に書いて捨てる」      |
| 19 | テスト前の数学の勉強は    | 「見ることが多い」         | A | 1-2-3-4 | B | 「書くことが多い」          |
| 20 | 他の人が質問を受けているとき | 「その質問を考える」        | A | 1-2-3-4 | B | 「他のことを考える」         |
| 21 | 数学は            | 「毎日学習する」          | A | 1-2-3-4 | B | 「数学の授業のある日だけ学習する」  |
| 22 | 返却された答案は       | 「なぜ間違えたのか考える」     | A | 1-2-3-4 | B | 「正解を写すだけ」          |
| 23 | 数学の勉強は         | 「計画に従ってやる」        | A | 1-2-3-4 | B | 「その場で思いついたことを勉強する」 |
| 24 | 問題をやって間違ったとき   | 「理解するまでやる」        | A | 1-2-3-4 | B | 「答えを直しておく」         |
| 25 | 先生の間違いに気づいたら   | 「指摘する」            | A | 1-2-3-4 | B | 「自分だけ直しておく」        |

## 英語の学習の仕方について

### あなたの仕方

		Aの仕方	A と 同 じ	A に 近 い	B に 近 い	B と 同 じ	Bの仕方
1	声を出して教科書を読むことは	「少ない」	A	1-2-3-4	B	「多い」	
2	調べるものは	「教科書や辞書・参考書である」	A	1-2-3-4	B	「教科書ガイドである」	
3	単語や連語は主に	「紙に書いて覚える」	A	1-2-3-4	B	「声に出して覚える」	
4	辞書は	「授業中には使わない」	A	1-2-3-4	B	「疑問に思うとすぐにひく」	
5	英文は	「すべて日本語に直す」	A	1-2-3-4	B	「重要な文のみ日本語に直す」	
6	英文解釈の予習は	「単語・連語を調べるだけである」	A	1-2-3-4	B	「本文を読んで内容を把握する」	
7	定期テストの前には	「必ず計画を立てて勉強する」	A	1-2-3-4	B	「そのつど考えて勉強する」	
8	単語や連語は	「単語ノートやカードに整理する」	A	1-2-3-4	B	「教科書に意味を書き込む」	
9	英作文する時	「不完全ならあきらめる」	A	1-2-3-4	B	「不完全でも自分の考えをメモしておく」	
10	カセット・テープで 書き取りの練習を	「することはない」	A	1-2-3-4	B	「することがある」	
11	書く内容は	「板書事項以外にもポイントを書く」	A	1-2-3-4	B	「先生が黒板に書いたことだけ書く」	
12	テスト範囲の英文法の 練習問題は	「もう一度やり直してみる」	A	1-2-3-4	B	「答えを覚える」	
13	単語・連語は	「定期テストの前に集中して覚える」	A	1-2-3-4	B	「少しずつ覚える」	
14	先生の質問にすぐ 答えられない時は	「友人に聞か わからないと言う」	A	1-2-3-4	B	「自分で答えようとする」	
15	他の人が質問を受けた時は	「自分は考えない」	A	1-2-3-4	B	「自分も考える」	
16	発音がわからない時	「発音記号を見て確認する」	A	1-2-3-4	B	「そのままにしておく」	
17	家庭学習は	「その時々に応じて、臨機応変に行う」	A	1-2-3-4	B	「日課表に従って行う」	
18	英文解釈の勉強では	「正確さより読み進む 速さを優先する」	A	1-2-3-4	B	「速さより正確さを優先する」	
19	カセットテープに 自分の英語を	「録音してみることもある」	A	1-2-3-4	B	「録音してみることはない」	
20	書く必要のあることは	「教科書にどんどん書き込む」	A	1-2-3-4	B	「ノートに書く」	
21	わからない時は	「わかるまで自分で調べる」	A	1-2-3-4	B	「すぐ誰かに聞く」	
22	英文解釈のテスト勉強では	「日本語を暗記する」	A	1-2-3-4	B	「英文を見ながら和訳する」	
23	英文法の授業では	「正解だけでなく 問題文の意味も知りたい」	A	1-2-3-4	B	「正解がわかればよい」	
24	英語の学習は	「授業のある日だけする」	A	1-2-3-4	B	「毎日する」	
25	辞書に適切な語訳が 見つからない時	「適当な語訳を いくつかメモする」	A	1-2-3-4	B	「最初の語訳をメモする」	
26	カセットテープを 聞く時	「注意が他のことに移りやすい」	A	1-2-3-4	B	「集中して聞いている」	
27	英文解釈の勉強では	「一文ずつ和訳する」	A	1-2-3-4	B	「大意さえわかれば1文ずつ 和訳しない」	
28	黒板に英作文を書くよう 言われた時	「隣の人やよくできる人に 答えを聞いて書く」	A	1-2-3-4	B	「自分の答えをそのまま書く」	
29	英文を暗記する時は	「覚えられたかどうか 書いてチェックする」	A	1-2-3-4	B	「声に出して覚える」	
30	英語のテスト勉強は	「毎日少しずつ行う」	A	1-2-3-4	B	「集中的に行う」	
31	練習問題は	「授業で先生や友達の 答えを聞いて書く」	A	1-2-3-4	B	「自分の答えを考えて書く」	
32	音読練習では	「あまり声を出さない」	A	1-2-3-4	B	「声を大きく出して言うほう」	
33	英文の和訳は	「ノートに書いてゆく」	A	1-2-3-4	B	「教科書の余白に書き込んでゆく」	
34	辞書は	「英和辞典を使う」	A	1-2-3-4	B	「使わず、教科書ガイドなどを見る」	
35	英作文の解答は	「先生の模範文を写す」	A	1-2-3-4	B	「別解も、すべて写す」	

3. プロフィール診断結果について

① 英語の学習の仕方のPLT (男女別, 文理別)

<女子>

尺度名	型	1年(全体64人)		2年(全体67人)		3年(全体61人)		型
		1	2	1	2	1	2	
授業の姿勢	とことん型	●	●	●	●	●	●	ほ ど ほ ど 型
予習の深度	深層型	●	●	●	●	●	●	表 層 型
解決スタイル	自力型	●	●	●	●	●	●	他 力 型
学習計画	計画型	●	●	●	●	●	●	臨 機 応 変 型
学習の要領	整理型	●	●	●	●	●	●	実 質 型
音声への関心	積極型	●	●	●	●	●	●	消 極 型
習得スタイル	確実型	●	●	●	●	●	●	速 攻 型
	頻度(%)	14(21.9) 7(10.9)		6(9.0) 6(9.0)		6(9.8) 5(8.2)		

<男子>

尺度名	型	1年(全体69人)		2年(全体65人)		3年(全体53人)		型
		1	2	1	2	1	2	
授業の姿勢	とことん型	●	●	●	●	●	●	ほ ど ほ ど 型
予習の深度	深層型	●	●	●	●	●	●	表 層 型
解決スタイル	自力型	●	●	●	●	●	●	他 力 型
学習計画	計画型	●	●	●	●	●	●	臨 機 応 変 型
学習の要領	整理型	●	●	●	●	●	●	実 質 型
音声への関心	積極型	●	●	●	●	●	●	消 極 型
習得スタイル	確実型	●	●	●	●	●	●	速 攻 型
	頻度(%)	13(18.8) 8(11.6)		9(13.8) 8(11.9)		8(15.1) 4(7.5)		

<文系>

尺度名	型	2年(全体67人)		3年(全体67人)		型
		1	2	1	2	
授業の姿勢	とことん型	●	●	●	●	ほ ど ほ ど 型
予習の深度	深層型	●	●	●	●	表 層 型
解決スタイル	自力型	●	●	●	●	他 力 型
学習計画	計画型	●	●	●	●	臨 機 応 変 型
学習の要領	整理型	●	●	●	●	実 質 型
音声への関心	積極型	●	●	●	●	消 極 型
習得スタイル	確実型	●	●	●	●	速 攻 型
	頻度(%)	9(13.4) 7(10.4)		7(10.4) 6(9.0)		

<理系>

尺度名	型	2年(全体65人)		3年(全体46人)		型
		1	2	1	2	
授業の姿勢	とことん型	●	●	●	●	ほ ど ほ ど 型
予習の深度	深層型	●	●	●	●	表 層 型
解決スタイル	自力型	●	●	●	●	他 力 型
学習計画	計画型	●	●	●	●	臨 機 応 変 型
学習の要領	整理型	●	●	●	●	実 質 型
音声への関心	積極型	●	●	●	●	消 極 型
習得スタイル	確実型	●	●	●	●	速 攻 型
	頻度(%)	6(9.2) 6(9.2)		8(17.4) 4(8.7)		

② 国語の学習の仕方のPLT (男女別, 文理別)

<女子>

尺度名	型	1年(全体64人)		2年(全体67人)		3年(全体61人)		型
		1	2	1	2	1	2	
授業姿勢	授業参加型	●	●	●	●	●	●	授業受け身型
古典の学習	積極予習型	●	●	●	●	●	●	消極予習型
学習のスタイル	努力持続型	●	●	●	●	●	●	省力予習型
疑問への取り組み	疑問解決型	●	●	●	●	●	●	疑問放置型
習得の仕方	自力内容理解型	●	●	●	●	●	●	他人依存暗記型
伝達スタイル	活字伝達型	●	●	●	●	●	●	音声伝達型
言語活動	活字思考型	●	●	●	●	●	●	感覚志向型
	頻度(%)	9(14.0)	7(10.9)	10(14.9)	6(9.0)	4(6.6)	4(6.6)	

<男子>

尺度名	型	1年(全体64人)		2年(全体65人)		3年(全体53人)		型
		1	2	1	2	1	2	
授業姿勢	授業参加型	●	●	●	●	●	●	授業受け身型
古典の学習	積極予習型	●	●	●	●	●	●	消極予習型
学習のスタイル	努力持続型	●	●	●	●	●	●	省力予習型
疑問への取り組み	疑問解決型	●	●	●	●	●	●	疑問放置型
習得の仕方	自力内容理解型	●	●	●	●	●	●	他人依存暗記型
伝達スタイル	活字伝達型	●	●	●	●	●	●	音声伝達型
言語活動	活字思考型	●	●	●	●	●	●	感覚志向型
	頻度(%)	11(15.9)	5(7.2)	16(24.6)	9(13.8)	16(30.2)	7(13.2)	

<文系>

尺度名	型	2年(全体67人)		3年(全体67人)		型
		1	2	1	2	
授業姿勢	授業参加型	●	●	●	●	授業受け身型
古典の学習	積極予習型	●	●	●	●	消極予習型
学習のスタイル	努力持続型	●	●	●	●	省力予習型
疑問への取り組み	疑問解決型	●	●	●	●	疑問放置型
習得の仕方	自力内容理解型	●	●	●	●	他人依存暗記型
伝達スタイル	活字伝達型	●	●	●	●	音声伝達型
言語活動	活字思考型	●	●	●	●	感覚志向型
	頻度(%)	11(16.4)	6(9.0)	8(11.9)	6(9.0)	

<理系>

尺度名	型	2年(全体65人)		3年(全体46人)		型
		1	2	1	2	
授業姿勢	授業参加型	●	●	●	●	授業受け身型
古典の学習	積極予習型	●	●	●	●	消極予習型
学習のスタイル	努力持続型	●	●	●	●	省力予習型
疑問への取り組み	疑問解決型	●	●	●	●	疑問放置型
習得の仕方	自力内容理解型	●	●	●	●	他人依存暗記型
伝達スタイル	活字伝達型	●	●	●	●	音声伝達型
言語活動	活字思考型	●	●	●	●	感覚志向型
	頻度(%)	11(16.9)	6(9.2)	11(23.9)	5(10.9)	

③ 数学の学習の仕方のPLT (男女別, 文理別)

<女子>

尺度名	型	1年(全体64人)		2年(全体67人)		3年(全体61人)		型
		1	2	1	2	1	2	
理解スタイル	過程重視型							結果重視型 臨機応変型 大様型 活動型 要点型
学習計画	計画型							
解決プロセス	堅実型							
解決スタイル	静思型							
記録スタイル	徹底型							
	頻度(%)	22(34.4)	10(15.6)	15(22.4)	13(19.4)	11(18.0)	10(16.4)	

<男子>

尺度名	型	1年(全体69人)		2年(全体65人)		3年(全体53人)		型
		1	2	1	2	1	2	
理解スタイル	過程重視型							結果重視型 臨機応変型 大様型 活動型 要点型
学習計画	計画型							
解決プロセス	堅実型							
解決スタイル	静思型							
記録スタイル	徹底型							
	頻度(%)	12(17.4)	11(15.9)	8(11.9)	7(10.8)	6(11.3)	6(11.3)	

<文系>

尺度名	型	2年(全体67人)		3年(全体67人)		型
		1	2	1	2	
理解スタイル	過程重視型					結果重視型 臨機応変型 大様型 活動型 要点型
学習計画	計画型					
解決プロセス	堅実型					
解決スタイル	静思型					
記録スタイル	徹底型					
	頻度(%)	15(22.4)	9(13.4)	14(20.9)	9(13.4)	

<理系>

尺度名	型	2年(全体65人)		3年(全体46人)		型
		1	2	1	2	
理解スタイル	過程重視型					結果重視型 臨機応変型 大様型 活動型 要点型
学習計画	計画型					
解決プロセス	堅実型					
解決スタイル	静思型					
記録スタイル	徹底型					
	頻度(%)	14(21.5)	10(15.4)	7(15.2)	4(8.7)	



④ 成績上位群と成績下位群に分けた場合の三教科のPLT

<英語>

尺度名	型	成績上位群(104人)		成績下位群(115人)		型
		1位	2位	1位	2位	
授業の姿勢	とことん型					ほどほど型
予習の深度	深層型					表層型
解決スタイル	自力型					他力型
学習計画	計画型					臨機応変型
学習の要領	整理型					実質型
音声への関心	積極型					消極型
習得スタイル	確実型					速攻型
	頻度(%)	17%	14%	10%	9%	

<国語>

尺度名	型	成績上位群(99人)		成績下位群(129人)		型
		1位	2位	1位	2位	
授業姿勢	授業参加型					授業受け身型
古典の学習	積極予習型					消極予習型
学習のスタイル	努力持続型					省力予習型
疑問への取り組み	疑問解決型					疑問放置型
習得の仕方	自力内容理解型					他人依存暗記型
伝達スタイル	活字伝達型					音声伝達型
言語活動	活字思考型					感覚志向型
	頻度(%)	9%	8%	19%	11%	

<数学>

尺度名	型	成績上位群(94人)		成績下位群(100人)		型
		1位	2位	1位	2位	
理解スタイル	過程重視型					結果重視型
学習計画	計画型					臨機応変型
解決プロセス	堅実型					大様型
解決スタイル	静思型					活動型
記録スタイル	徹底型					要点型
	頻度(%)	17%	16%	28%	15%	

⑤ 三教科のPLTの型の種類と特徴

<英語>

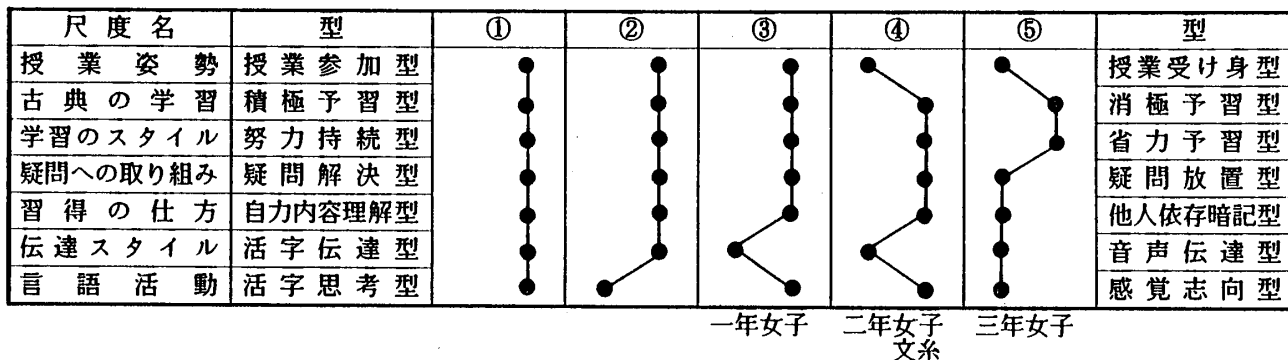
- (1) 男女差なし
- (2) 文理差なし
- (3) 各学年同一傾向である
- (4) プロフィールには4つの型がみられる

尺度名	型	①	②	③	④	型
授業の姿勢	とことん型					ほどほど型
予習の深度	深層型					表層型
解決スタイル	自力型					他力型
学習計画	計画型					臨機応変型
学習の要領	整理型					実質型
音声への関心	積極型					消極型
習得スタイル	確実型					速攻型

二年男子      三年理系

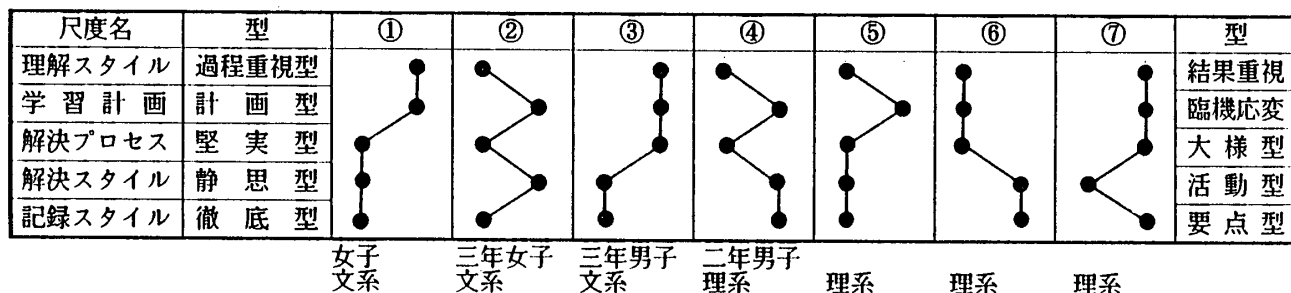
＜国語＞

- (1) 男女差あり
- (2) 文理差なし
- (3) 各学年同一傾向である
- (4) プロフィールには5つの型がみられる



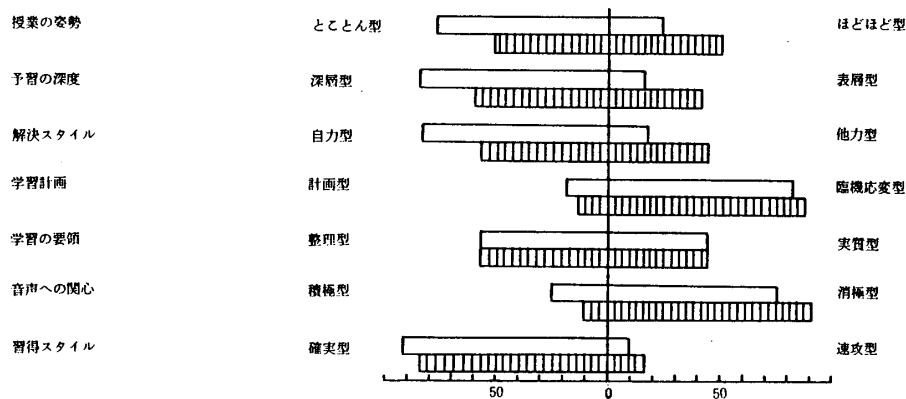
＜数学＞

- (1) 男女差あり
- (2) 文理差あり
- (3) 各学年それぞれである (女子には同じ傾向がみられる)
- (4) プロフィールには7つの型がみられる



⑥ (尺度別) 三教科の成績上位、下位の出現割合

〔英語〕

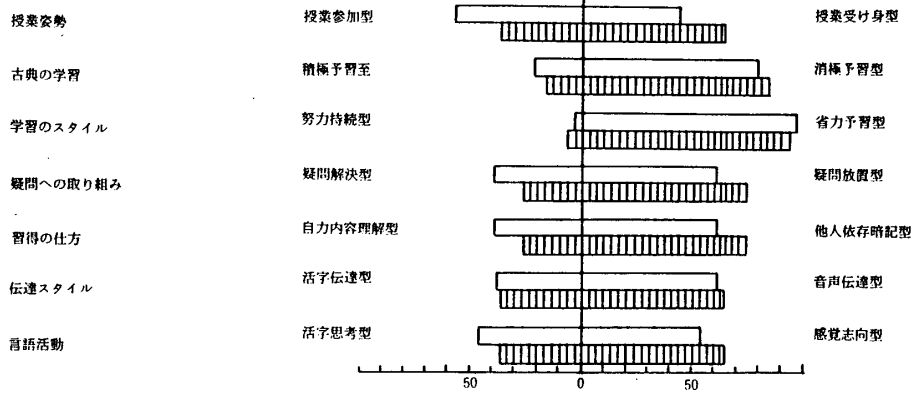


上位 (27%)                      下位 (30%)

- (1) 成績上位者は、ところん型 (授業の姿勢) — 深層型 (予習の深度) — 自力型 (解決スタイル) — 積極型 (音声への関心) に多い。
- (2) 成績下位者は、ほどほど型 (授業の姿勢) — 表層型 (予習の深度) — 他力型 (解決スタイル) — 消極型 (音声への関心) に多い。
- (3) 学習の要領は実質型でも整理型でも、成績上位者と成績下位者で差がまったく見られない。

個人レベルの学習・指導理論とマイコンによる学習方法の診断

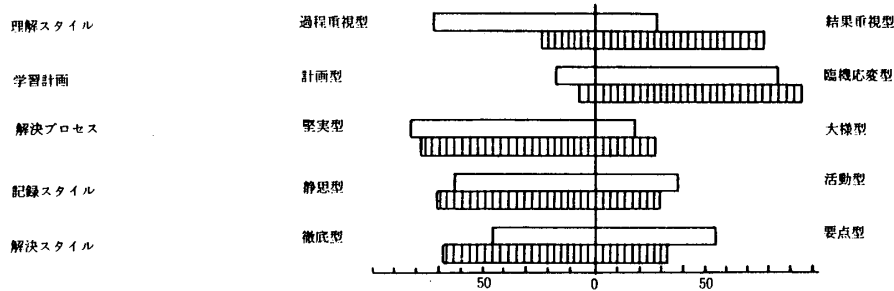
〔国語〕



上位 (26%)                      下位 (34%)

- (1) 成績上位者は、授業参加型（授業姿勢）—疑問解決型（疑問への取り組み）—自力内容理解型（習得の仕方）—活字思考型（言語活動）に多い
- (2) 成績下位者は、授業受け身型（授業姿勢）—疑問放置型（疑問への取り組み）—他人依存暗記型（習得の仕方）—感覚志向型（言語活動）に多い。
- (3) 学習のスタイルは、努力持続型である成績下位者が目につく。

〔数 学〕



上位 (25%)                      下位 (26%)

- (1) 成績上位者は、過程重視型（理解スタイル）—要点型（記録スタイル）に多い。
- (2) 成績下位者は、結果重視型（理解スタイル）—徹底型（記録スタイル）に多い。

〔今後について〕

- ① 「プロフィール診断」の結果をどのように生徒に活用させていくか。生徒との面接、学習指導等に役立てられるようなプログラムの改良。
- ② 三教科から五教科へと広げること。また、中学生用のものもつくること。
- ③ 中高6カ年の発達段階に応じた各教科の学習方法のいろいろを、まとめることは可能か。
- ④ 学習方法以前の生活実態から切り込むような質問項目は可能か。また、総合的な学習方法の改善はどのようにアドバイス出来るか。